



 **Endpoint Manager Cloud**

【完全版】Android デバイス管理必携！

**Android Enterprise を徹底解剖！**

PC・スマホ・タブレットの一元管理をクラウドで実現  
「使いやすい」管理コンソールで、充実の「IT 資産管理機能」と「MDM 機能」を実装

IT review 顧客評価No.1

使いやすい管理コンソール

充実の PC 管理

操作ログ・セキュリティ

PC 管理に必要な機能を網羅

Apple・Google の認定プログラム対応

充実の「モバイル管理」



## MDM ツール

デバイス情報（ハード・アプリ）の取得

位置情報の取得

リモートロック・ワイプ

セキュリティポリシーの設定

メッセージ・アンケートの通知

+

## Google のプログラム

Android Enterprise (AE)

- ✓ MDM と組み合わせて利用する必要がある
- ✓ MDM ツール単体で実現できない、より高度な管理を実現
- ✓ 利用は無償だが、事前準備や利用条件があり、注意が必要

MDM ツール単体でも管理できるものの、AE を組み合わせて利用するとできる範囲が広がります。

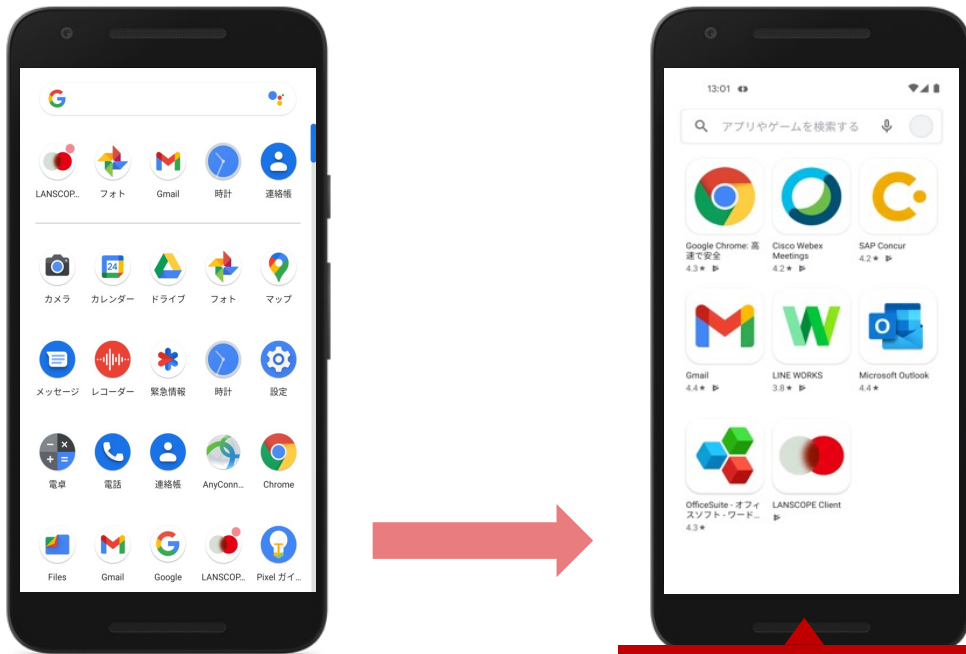


## Android Enterprise とは

Android Enterprise はアプリの配信やデバイスの利用制御など、より高度なデバイス管理を実現できる Google 社が提供するプログラムです。  
Android Enterprise の利用は無料ですが、事前に利用申請が必要です。

### Full Device Management

エンドポイントマネージャーで許可した範囲で、スマホ・タブレット本来の機能を利用してもらいつつ、アプリ管理やセキュリティ対策を実現できます。



許可したアプリのみ  
Play ストアに表示

### キオスクモード

特定のアプリ以外利用できないようにする（Play ストア等、設定アプリ、ホームボタンなども利用不可）など、デバイスの用途を限定できます。



飲食店の注文用タブレットなど  
用途がごく限られる場合に利用

## Android Enterprise 機能一覧

No	機能	
1	パスワード再設定	デバイスに別のパスワードを上書きで設定できます。
2	パスワードポリシー	桁数や有効期限など設定するパスワードのルールを設定できます。
3	物理的な外部メディアの利用禁止	SDカードなど物理的な外部メディアの利用を禁止できます。
4	USB接続禁止	ストレージとしての接続やデータ転送を禁止できます。
5	NFCによるデータ転送禁止	NFCによるデータの転送を禁止できます。
6	Bluetooth機器の接続禁止	Bluetooth機器の接続を禁止できます。
7	デバイスの初期化禁止	デバイスの初期化を禁止できます。
8	日付・時刻の変更禁止	日付や時刻の変更を禁止できます。
9	デバッグ機能・セーフブートの利用禁止	デバッグ機能・セーフブートの利用を禁止できます。
10	位置情報設定の有効化	ポリシー適用時に位置情報モードを有効にできます。
11	充電中のスリープモードの無効化	充電中に画面がスリープ状態にならないように設定できます。
12	カメラの利用禁止	カメラの利用を禁止できます。
13	スクリーンショットの取得禁止	スクリーンショットの取得を禁止できます。
14	マルチユーザーの利用禁止	ユーザーアカウントの複数作成や切り替えを禁止できます。
15	アカウント管理の変更禁止	Googleアカウントの追加などアカウントの変更を禁止できます。
16	ネットワークの選択禁止	Wi-Fiネットワークの選択を禁止できます。
17	Wi-Fi設定	Wi-FiのSSIDやパスワードなどをデバイスに設定できます。
18	OS アップデートの制御	30日間 OS のアップデートを禁止するなどの設定ができます。

19	アプリ配信	アプリを指定して、デバイスへインストールができます。
20	Play ストア管理	Play ストアに表示するアプリを設定できます。
21	アプリ権限設定	アプリを利用するための権限などを設定できます。
22	アプリの自動更新設定	Play ストアアプリの自動更新を設定できます。
23	提供元不明アプリのインストール禁止	Playストアを経由しないアプリのインストールを禁止できます。
24	キオスクモード	特定アプリ以外利用できないようにするなど利用を限定できます。



キオスクモードは、Android Enterprise の機能の一つです。キオスクモードの設定を有効にしない場合は、Full Device Management として管理できます。

## Android Enterprise 利用の流れ

Android Enterprise を利用する場合、Google 社のポータルより、利用申請を行う必要があります。

### <利用申請に必要な情報>

- ・他の Google のサービスで使用していない 無償の Google アカウント ※ Google Workspace で利用しているアカウントは申請に利用できません。



長期間ログインされない場合や、Google 社が規約違反と判断した場合に、Google 社によってアカウントを無効化／削除されることがあります。無効化／削除された場合、エンドポイントマネージャーに登録したすべての Android Enterprise デバイスが初期化され、Android Enterprise のすべての機能が利用できなくなります。そのため、Google アカウントに定期的にログインしてください。

### <Android Enterprise 利用の流れ>

#### Step 1 ポータルにサインアップする



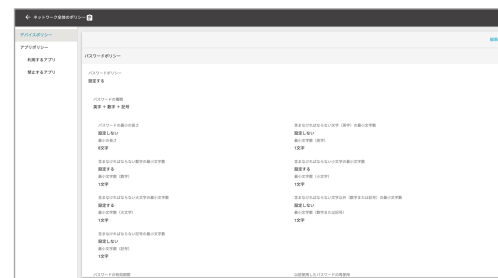
エンドポイントマネージャーの管理コンソールより、Google 社のポータルにアクセスし、用意した Google アカウントでサインアップします。

#### Step 2 必要情報の入力



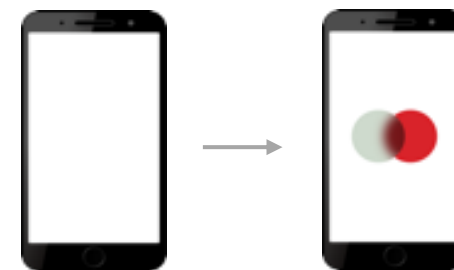
企業／組織名や連絡先情報を入力し、登録し、完了です。

#### Step 3 ポリシーの設定



エンドポイントマネージャーの管理コンソール上で、ポリシーの設定を行います。

#### Step 4 デバイスの初期設定



デバイスの電源を入れて、アクティベーション作業を行います。その後、管理に必要な設定をデバイス上で行います。

## デバイス管理に必要なプログラム

必要なプログラム	概要	配信・インストール方法
<p>DPC アプリ</p> <p>【必須】</p> 	<p>Android Enterprise で提供する機能を利用するためのアプリです。</p>	<p>Android Enterprise のデバイス登録の手順でインストールが完了します。</p>
<p>LANSCOPE Client (アプリ)</p> <p>【必須】</p> 	<p>位置情報や操作ログ、資産情報の取得など、エンドポイントマネージャーが独自に提供する機能を利用するためのアプリです。</p>	<p>Android Enterprise のデバイス登録の手順でインストールが完了しますが、別途エンドポイントマネージャーのサーバーへの登録作業が手動が必要です。</p>



DPC アプリ・LANSCOPE Client とともに、デバイスのアクティベーションの過程でインストールが行われます。そのため、**利用中のデバイスで Android Enterprise を利用する場合、デバイスを初期化し再度アクティベーション**を行う必要があります。

## デバイス登録方法 ※AE で利用できる機能は、どちらの登録方法を利用しても同じです。

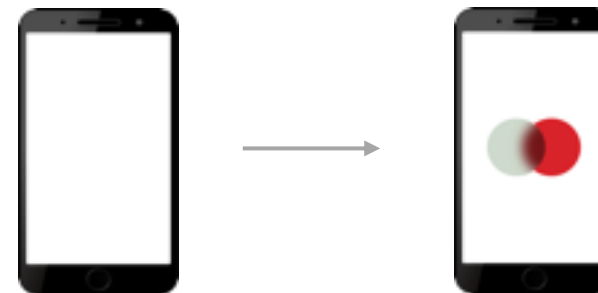
### QR コードを利用する

Android Enterprise への適用・LANSCOPE Client（アプリ）をインストールするための QR コードを読み取ります。



### ゼロタッチ登録 (Zero-touch enrollment) を利用する

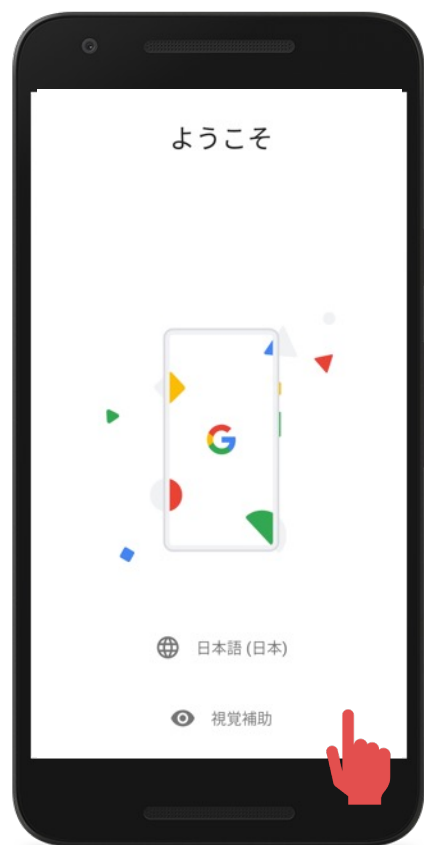
事前設定を行い、デバイスをアクティベーションします。アクティベーションの過程で、自動的に Android Enterprise への適用と LANSCOPE Client がインストールされます



	QR コードを利用する	ゼロタッチ登録
事前準備	少ない	多い
アンインストール防止	可能。但し初期化された場合は、エンドポイントマネージャーの管理下から外れ、デバイスが利用できる。	可能。初期化された場合でも、再アクティベーション後、必要な設定を行い、エンドポイントマネージャーの管理下に入った状態でないとデバイスが利用できない。
利用条件	特になし	<ul style="list-style-type: none"><li>Android 8.0 以降で<b>ゼロタッチ登録をデバイスの購入元に申請して購入したデバイス</b>。</li><li>購入したデバイスの情報をゼロタッチ登録を利用するためのゼロタッチポータルに事前に登録する必要がある。</li><li>エンドポイントマネージャーとポータルサイトを連携する登録コードの有効期限が 30 日のため、期限前に更新が必要。</li></ul>
デバイス側の操作	デバイスの電源ボタンを押下後、「こんにちは」の画面を6回以上タップし、QR コードを起動。コンソールの QR コードを読み取り、アクティベーションします。	電源ボタンを押下後、初期設定を進めてアクティベーションを完了します。

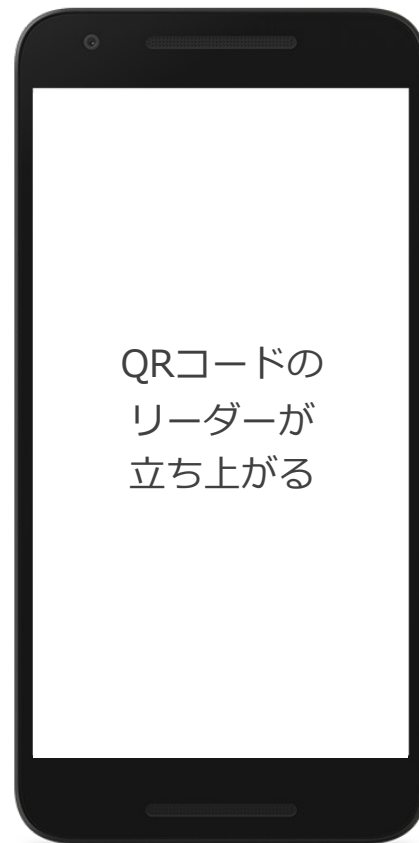


## Android Enterprise 利用時の デバイス登録方法：QR コードを利用する場合



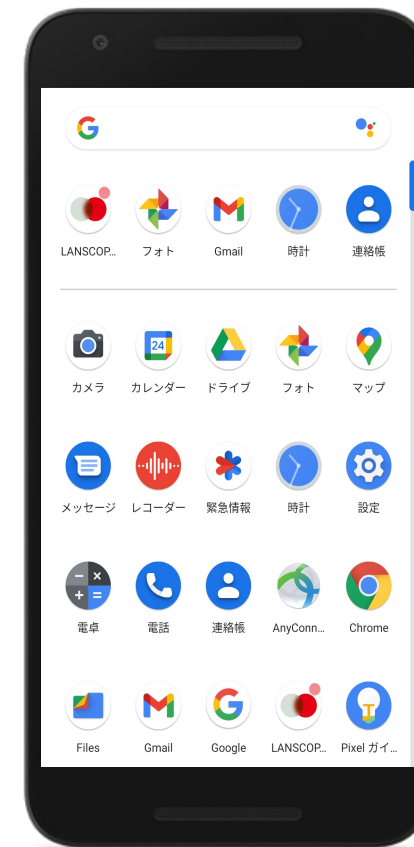
画面を6回以上  
タップする

■■■■■■



管理コンソールに表示して  
いる QR コードを読み取る

■■■

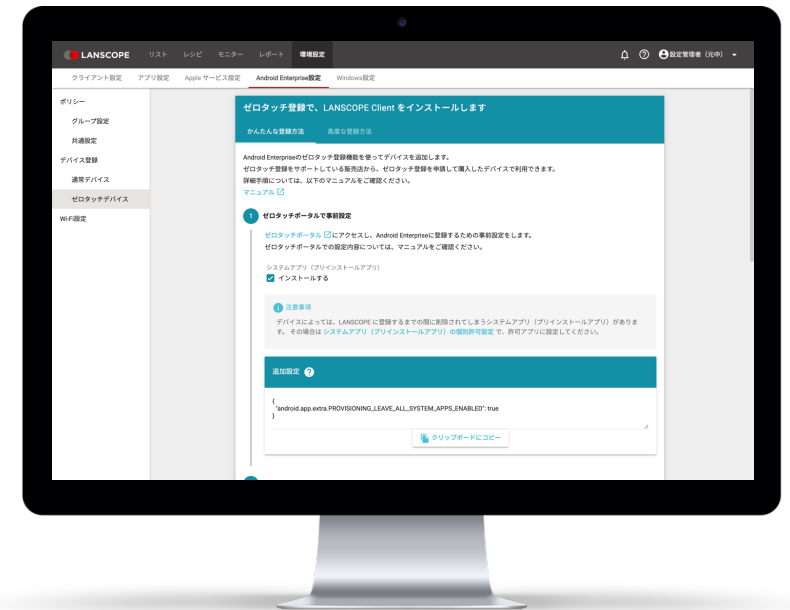


エージェントの  
インストール完了※

※ 別途、LANSCOPE Client の登録作業が必要です。



① 連携設定



② ゼロタッチポータルに、管理下に置くデバイス  
に設定情報を付与する

③ デバイスのアクティベーション後、当該デバ  
イスを管理コンソールより確認できます※



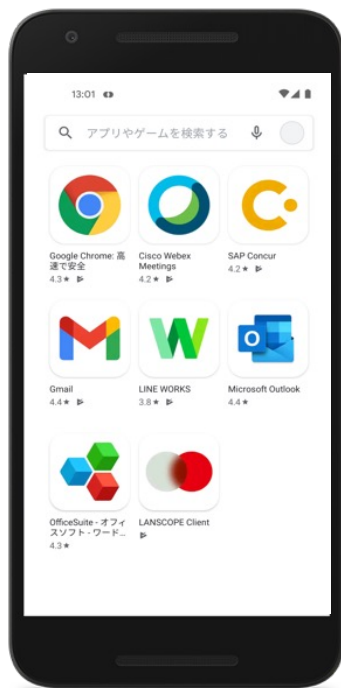
ゼロタッチ登録を利用する場合、デバイス購入元より「ゼロタッチデバイス」としてデバイスを購入する必要があります。  
またデバイス購入元が、ゼロタッチ登録の認定を Google 社より受ける必要があります。

※ 別途、LANSCOPE Client の登録作業が必要です。

## アプリ管理 (Full Device Management)

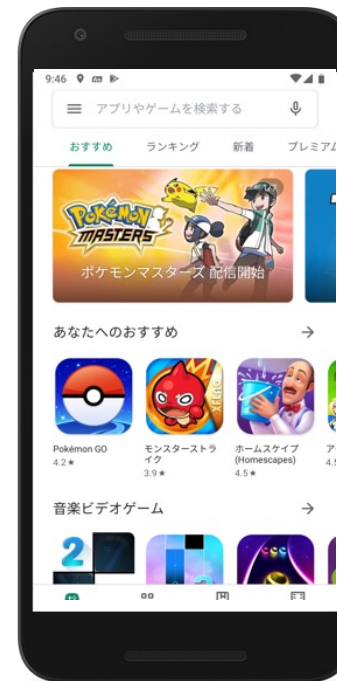
設定した利用を許可するアプリを Play ストアに表示します。デバイス登録時に、Play ストアを利用するための Google アカウントがランダムに設定されます（このアカウントで、Gmail などのサービスは利用できず、別途設定が必要です）。許可したアプリは、Play ストアに表示するだけでなく、強制的にインストールすることも可能です。

### ホワイトリスト



許可したアプリ  
のみ Play ストア  
に表示する

### ブラックリスト（“見た目”は通常の Play ストア）



不許可のアプリは  
Play ストアに表示  
しない



設定できるアプリは、Play ストア掲載のアプリです。自社開発アプリを Play ストアに表示できますが、注意事項があります。詳細はお問い合わせください。  
また Android Enterprise の仕様上、Google Play ストアで課金が必要な有償アプリの管理はできません。

# アプリの設定方法 (Full Device Management)

## Step1 アプリ管理の方式を選択



### アプリの許可設定 ?

#### ☒ 「利用するアプリ」のみ許可する

Play ストアには、設定したアプリのみ表示されます。

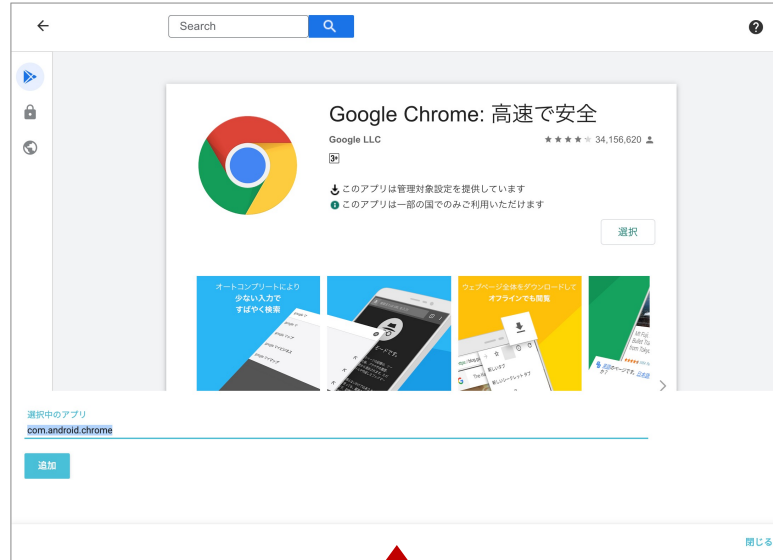
#### ☐ 「禁止するアプリ」のみ禁止する

Play ストアには、設定したアプリ以外が表示されます。

利用するアプリを設定する (ホワイトリスト形式)

ホワイト or ブラックリスト方式  
いずれかを設定

## Step2 許可する/禁止するアプリを検索し追加する



Play ストアの UI からアプリを検索し  
Click 操作で選択・追加

## Step3 アプリのインストール方式を設定 ※許可するアプリの場合



### インストール方法の変更

#### ☐ 手動インストール

デバイスの利用者が、Play ストアからアプリをインストールできるようにします。

#### ☐ 強制インストール

アプリは自動的にデバイスにインストールされ、利用者はアプリをアンインストールできません。

#### ☐ プリインストール

アプリは自動的にデバイスにインストールされ、利用者はアプリをアンインストールできません。

手動インストールは Play ストアに表示するのみ、  
強制/プリインストールはインストールまで実行



## アプリ管理（キオスクモード）

特定のアプリ以外利用できないようにする（Play ストア等、設定アプリ、ホームボタンなども利用不可）など、デバイスの用途を限定できます。設定アプリの利用を禁止、ホームボタン無効化、電源ボタンのメニュー非表示とするなど、高度なデバイスの制限が可能です。

キオスクモードは、アプリ・Web アプリ・カスタムランチャーモードの 3種類より選択します。



### アプリ・Web アプリモード

指定したアプリ（または Web サイト）1つのみが、デバイス起動時に全画面に表示されます。

※ LANSCOPE Client を指定した場合の画面です。



### カスタムランチャーモード

指定した複数のアプリをホーム画面上に表示できます。

※ 指定できるアプリは Play ストアアプリ、または自社開発アプリのみです。「電話」等のアプリは指定できません。



# 60日間無料で体験できます！

体験版を利用したお客様の7割が製品版をご導入いただいています

## Android Enterprise の利用設定も含め、製品版へのデータ引き継ぎが可能です！

エンドポイントマネージャー クラウド版の体験版は 60日間たっぷり利用できます。十分に機能を検証していただき、ご検討ください。

Android Enterprise との連携設定を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。

また体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメールで問い合わせが可能。マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。



#### 製品に関するお問い合わせ

##### ■ 営業本部

大阪本社 06-6308-8980  
東京本部 03-5460-0775  
名古屋支店 052-253-7346  
九州営業所 092-419-2390  
E-mail [sales@motex.co.jp](mailto:sales@motex.co.jp)

#### ご購入後の製品利用に関するお問い合わせ

サポートセンター 0120-968995（携帯・PHSからは06-6308-8981）  
お電話受付時間 9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）  
Email お問い合わせ [support@motex.co.jp](mailto:support@motex.co.jp)